

## 1 事業の実施状況

事業項目	実績
事業概況	<p>平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震によって、当法人の施設が全壊となったが、国・北海道・厚真町をはじめ多くの皆様から寄せられた物心両面にわたる温かいご支援により、令和2年12月に、「厚真リハビリセンター」、「豊厚園」、「あつまデイサービスセンター」、「あつま居宅介護支援事業所」の新施設が完成し、新たなスタートを切ることができた。</p> <p>新施設は、明るくて広い空間のある機能的な最新設備を備えた近代的施設に生まれ変わり、これまで福祉仮設住宅で制限されていた新規入所者の受け入れを再開し、経営の早期安定化に向けた第一歩を踏み出すとともに、職員が一丸となって、利用者が安全・安心で心豊かな日常生活を送ることができるよう支援に努めた。</p> <p>また、世界中で猛威を振るっている「新型コロナウイルス感染症」は、道内においても、医療機関や社会福祉施設等で集団感染が多数発生したため、当法人としても、強い危機感をもって、国が示す感染対策マニュアルに基づき、ご家族の皆様の面会自粛をはじめ、職員の施設内外での基本的感染対策の徹底に努めた結果、一人の感染者・濃厚接触者も出さず令和2年度を終えることができた。</p>
経営理念	<p>利用者の自己選択と自己決定を尊重し、個人の尊厳（個人の人格・人としての権利）に配慮した良質かつ安全・安心なサービスを提供する社会福祉事業の経営に努めた。</p>
経営の基本 (1) 利用者の自立支援  (2) 健全経営の実現  (3) 職場環境の充実  (4) 地域社会への貢献	<p>利用者一人ひとりの尊厳を尊重し、「利用者や家族が希望するサービス」を個々の障がい特性や要介護度に応じて支援計画を策定し、専門的支援を行い、利用者が安全で安心して楽しい生活が出来る施設・事業運営に努めた。</p> <p>法人の主体性と自立を高め、法令を遵守し、社会福祉事業の主たる担い手にふさわしい法人・事業の適正な運営に努めた。</p> <p>また、事業・予算の重点化、効率化、収入の確保を進め、安定した経営や活力のある経営に努めた。</p> <p>北海道厚真福祉会・社会福祉施設・職員が果たすべき役割の認識を高め、必要職員の配置、専門的な知識や技術の向上、職員待遇の向上に努めるとともに、誇りをもって働くことができる魅力がある職場環境づくりに努めた。</p> <p>利用者や家族、厚真町民などに対して身近にある福祉サービスの要の役割を果たし、地域にとって必要不可欠な存在となる活動に努めた。</p>
重点目標 (1) 事務局 総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法令を遵守した効率的、効果的な法人・事業運営に努めた。</li> <li>・ 新施設建設に関する受注事業者との打合せを実施し、工事進捗状況の確認や発注者としての意見反映に努めた。（毎月）</li> </ul>

事業項目	実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新施設開設に向けた引越計画を策定・実行し、滞りなく引越しを完了した。</li> <li>・ 高齢者宅の雪かき等の地域公益活動事業を実施した。(随時)</li> <li>・ 将来の施設運営を担う人材育成を図るため、新規採用職員研修の実施(4月、随時)、施設内外研修等の実施(随時)等の研修(キャリアパス)を実施した。</li> <li>・ 職員の処遇改善を図るため、新たに6月から「介護職員等特定処遇改善手当」を支給するとともに、新施設の利用者受入増に見合う職員確保に努めた。</li> <li>・ 障害福祉サービス等報酬、介護報酬に基づいた予算の編成、執行した。</li> <li>・ 新施設開設後の新規利用者受入促進による収入増に努めた。</li> <li>・ 新施設整備計画に基づき、国庫・道費補助金及び厚真町補助金の申請、福祉医療機構の資金借入事務を適切に行い、実績報告、受注事業者への支払等、新施設建設にかかる事務を滞りなく完了した。</li> </ul>
(2) 事務局 事業運営課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者サービスの向上を図るため、個別支援計画や介護サービス計画の作成やサービス提供に関する会議を開催し、指導に努めた。(毎月)</li> <li>・ 各種委員会の効果的な運営を図るための指導に努めた。(毎月)</li> <li>・ 地域の諸団体(ボランティア等)との連携に努めた。(随時)</li> </ul>
(3) 各種委員会	
① 事故防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故防止委員会を開催(毎月)し、事故やヒヤリハット(転倒、転落、誤薬等)の防止対策に努めた。</li> </ul>
② 感染症対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症対策委員会を開催(5、6、7、9、10、11、1月)し、「新型コロナウイルス感染症」等の発生子防対策、蔓延防止対策を協議・実行した。</li> </ul>
③ 防災対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合避難訓練(5月、8月)、を実施し、防災対策の推進に努めた。</li> </ul>
④ 苦情解決委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者、家族等からの要望等への適切な対応に努めた。(苦情件数: 0件)</li> </ul>
⑤ 権利擁護・虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の権利擁護・虐待防止を図るための必要な研修等に取り組んだ。</li> </ul>
⑥ 給食運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給食運営委員会を開催(毎月)し、利用者の状況に合わせた食事、季節感に富んだ食事、嗜好調査結果に基づいた食事の提供に努めた。</li> </ul>
⑦ 特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別委員会を開催(随時)し、コロナ禍における法人全体行事(納涼の会等)の企画、運営に努めた。</li> <li>・ 新人職員研修、職場外研修参加の支援に取り組んだ。(随時)</li> </ul>
⑧ 広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「厚真福祉だより」を発行(5、8、1月)し、厚真町民やご家族に対し、各施設利用者の近況報告や法人業務のPR等を行った。</li> </ul>
⑨ 衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の安全と健康の確保、職場環境の改善に努めた。(毎月)</li> </ul>

2 法人役員・評議員の状況（令和3年3月31日現在）

役員任期：令和元年6月定時評議員会選任時（R元. 6. 11）～令和3年6月定時評議員会終結時

評議員任期：平成29年4月1日～令和3年6月定時評議員会終結時

定数：理事6名 監事2名 評議員7名

(1) 法人役員（理事・監事）

役職名	氏名	当初就任年月日	職業	推薦団体等	備考
理事長	岩筋 雅弘	平成21年11月12日	会社社長	学識経験者	
常務理事	三浦 康弘	令和元年6月11日	北海道厚真福祉施設長	北海道厚真福祉会	
理事	阿部 清一	平成29年6月13日	町土地改良区職員	厚真町民生児童委員協議会	
理事	加藤 恒光	平成29年6月13日	ともいきの里センター長	厚真町社会福祉協議会	
理事	宮西 純子	平成29年6月13日	農業	とまこまい広域農業協同組合	
理事	山口 清光	平成29年6月13日	無職	身体障害者福祉協会厚真支部	
監事	金子 洋巳	令和元年6月11日	会社員	学識経験者	
監事	中田 元次	平成29年6月13日	無職	学識経験者	

(2) 評議員

役職名	氏名	当初就任年月日	職業	推薦団体等	備考
評議員	浅野 勝善	平成29年4月1日	農業	とまこまい広域農業協同組合	
評議員	加勢 敏和	平成27年8月1日	農業	厚真町社会福祉協議会	
評議員	久保 壹彦	平成27年8月1日	無職	本郷自治会	
評議員	小納谷誠司	平成27年8月1日	商店社長	厚真町商工会	
評議員	河村 忠治	平成31年1月22日	農業	厚真町老人クラブ連合会	
評議員	寺坂 文秀	平成29年4月1日	会社社長	厚真福祉会家族会	
評議員	藤本 昭子	平成17年8月1日	無職	厚真町婦人団体協議会	

(3) 特別顧問

役職名	氏名	当初就任年月日	職業	推薦団体等	備考
特別顧問	亀山 信夫	令和元年6月12日	無職		元理事

## (4) 顧問

役職名	氏名	当初就任年月日	職業	推薦団体等	備考
顧問	河村美枝子	平成27年 8月 1日	農業		元理事
顧問	大西 武雄	平成29年 6月13日	無職		元理事

## 3 理事会及び評議員会の開催状況

## (1) 理事会

区分	開催日	開催場所	総数	出席数	主 な 議 題
第1回	R 2年5月 理事会決議の省略	—	理事 6 監事 2	全員 同意	31年度事業実績報告、31年度決算報告、監査報告、定款の一部変更、給与規程の一部改定、定時評議員会の招集
第2回	R 2年9月 理事会決議の省略	—	理事 6 監事 2	全員 同意	第1四半期事業報告、理事長・常務理事の職務の執行状況報告、監査報告、定款の一部変更認可、厚真リハビリ・豊厚園・あつまデイ移転改築の進捗状況報告、第1回臨時評議員会の招集
第3回	R 2年11月 理事会決議の省略	—	理事 6 監事 2	全員 同意	上半期事業報告、上半期収支報告、理事長・常務理事の職務の執行状況報告、監査報告、(独)福祉医療機構 厚真リハビリ・豊厚園・あつまデイ移転改築工事に係る建設資金貸付金内定通知について、厚真リハビリ・豊厚園・あつまデイ移転改築の進捗状況報告、今後のスケジュール
第4回	R 3年3月 理事会決議の省略	—	理事 6 監事 2	全員 同意	第3四半期事業報告、理事長・常務理事の職務の執行状況報告、監査報告、厚真リハビリ・豊厚園・あつまデイ移転改築工事に係る社会福祉施設等災害復旧費補助金の実績報告、令和2年度第1次補正予算、令和3年度事業計画、令和3年度資金収支予算、定款の一部変更、第1回臨時評議員会の招集臨時評議員会の招集

## (2) 評議員会

区分	開催日	開催場所	総数	出席数	主 な 議 題
定時	R 2年6月 評議員会決議の省略	—	7	全員 同意	31年度事業実績報告、31年度決算報告、監査報告、定款の一部変更、給与規程の一部改定
第1回	R 2年12月 臨時評議員会決議の省略	—	7	全員 同意	上半期事業報告、上半期収支報告、理事長・常務理事の職務の執行状況報告、監査報告、(独)福祉医療機構 厚真リハビリ・豊厚園・あつまデイ移転改築工事に係る建設資金貸付金内定通知について、厚真リハビリ・豊厚園・あつまデイ移転改築の進捗状況報告、今後のスケジュール
第2回	R 3年3月 臨時評議員会決議の省略	—	7	全員 同意	定款の一部変更

#### 4 監事等による監査実施状況

##### (1) 監事

区分	監査月日	監査対象期間	主な監査実施内容	改善・意見
第1回	R 2 . 5. 11	31年度事業・会計全般	31年度事業報告・各会計資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表・財産目録、利用者の金銭等管理	適切
第2回	R 2 . 8. 31	令和2年度第1・四半期	令和2年度事業運営・各会計経理・資産管理	適切
第3回	R 2 . 11. 20	令和2年度第2・四半期	令和2年度事業運営・各会計経理・資産管理、利用者の金銭等管理	適切
第4回	R 3 . 3. 11	令和2年度第3・四半期	令和2年度事業運営・各会計経理・資産管理	適切

##### (2) 公認会計士

区分	監査月日	監査対象期間	主な監査実施内容	改善・意見
第1回	R 2 . 5. 14	31年度会計全般	31年度各会計資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表・財産目録	適切

##### (3) 北海道胆振総合振興局

監査月日	監査対象期間	主な監査実施内容	改善・意見
R 2 . 7. 30		障害福祉事業者集団指導 介護保険施設集団指導	

# 令和2年度 事業実績報告書

施設名 厚真リハビリセンター

対象期間 令和2年4月～令和3年3月

事業項目	実績																																																								
<p><b>事業方針</b></p> <p>法人の経営理念に基づき、利用者の自己選択と自己決定を尊重し、個人の尊厳に配慮した良質かつ安全・安心なサービスの提供に努めるとともに、健康の維持・増進、日常生活能力の維持・向上、創作活動の充実・活性化等の自立支援の向上に努めます。</p> <p>また、将来の安定的な運営に向けて、これまでの身体障害を中心とした運営形態から、今後は知的障害や精神障害のある方の利用促進も図っていく必要があります。身体・知的・精神の3障害に対応できる専門知識と支援技術の習得向上に努めます。</p> <p>なお、新施設が完成する本年度は、利用者が福祉仮設住宅から新施設に不安なく転居できるよう配慮しながら計画的に移転準備を進めるとともに、行政や医療機関、相談支援事業所等の関係機関との情報共有・相互連携を図り、利用待機者の確保に努めます。</p> <p><b>重点目標</b></p> <p>1 個別支援計画（ケアプラン）に基づく個々の障害特性に対応した適切なサービスの提供</p>	<p>法人の経営理念に基づき、安全・安心なサービスの提供に努めるとともに、健康の維持・増進、日常生活能力の維持・向上、創作活動の充実・活性化等の自立支援の向上に努めた。</p> <p>また、将来の安定的な運営に向けて、本年度から身体・知的・精神の3障害に対応できる専門知識と支援技術の習得・向上を図るための職員研修を実施した。</p> <p>なお、新施設移転に際し、利用者の食事提供や入浴等支援に支障を来すことのないよう、厨房設備・機械浴機器の移設工事や各種支援物品の引越業務について関係事業者と綿密な協議を行い、最短スケジュールで移転準備を進め利用者の引越を滞りなく完了するとともに、近隣市町村や医療機関、相談支援事業所等の関係機関に対し新施設オープンの情報提供及び利用者募集の営業活動を行い新規利用者の確保に努めた結果、年度末までに目標とした利用者45名の確保を達成した。</p> <p>○ サービス管理責任者が中心となり、利用者の自己選択・自己決定を尊重した支援計画を作成し、利用者ニーズに沿ったサービスの提供に努めた。</p> <p><b>【個別支援計画・機能訓練実施計画策定会議実績】</b></p> <p>4月～3月 計81名</p> <table border="1" data-bbox="564 1653 1465 1821"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>7名</td> <td>7名</td> <td>7名</td> <td>7名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <th>開催月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0名</td> <td>11名</td> <td>7名</td> <td>8名</td> <td>7名</td> <td>8名</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【栄養ケア計画策定会議実績】</b> 4月～9月 計92名</p> <table border="1" data-bbox="564 1899 1465 2067"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>7名</td> <td>7名</td> <td>8名</td> <td>9名</td> <td>6名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <th>開催月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0名</td> <td>17名</td> <td>7名</td> <td>8名</td> <td>8名</td> <td>8名</td> </tr> </tbody> </table>	開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	人数	7名	7名	7名	7名	6名	6名	開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	人数	0名	11名	7名	8名	7名	8名	開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	人数	7名	7名	8名	9名	6名	7名	開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	人数	0名	17名	7名	8名	8名	8名
開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																			
人数	7名	7名	7名	7名	6名	6名																																																			
開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																			
人数	0名	11名	7名	8名	7名	8名																																																			
開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																			
人数	7名	7名	8名	9名	6名	7名																																																			
開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																			
人数	0名	17名	7名	8名	8名	8名																																																			

<p>2 新施設への移転準備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者が福祉仮設住宅から新施設に不安なく転居できるよう配慮し計画的な移転準備に取り組んだ。</li> <li>○ 行政や医療機関、相談支援事業所等の関係機関との情報共有・相互連携を図り新規利用者の確保に努め、3月末までに45名の目標を達成した。</li> </ul>
<p>3 利用者の自立支援と地域移行を目指した生活支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者の健康とADLの維持・向上を目的とした活動支援を行うと共に、生きがいや楽しみとなるレクリエーションや創作活動等の日中活動支援の充実に取り組んだ。</li> <li>○ 地域資源の活用については、新型コロナウイルス感染予防の為、地域の食堂からの出前に変更し提供した。</li> <li>○ 相談支援事業所と連携し、地域生活移行希望者に必要な情報提供等の支援に努めた。</li> </ul>
<p>4 食事の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者が健康に過ごす為の「個別栄養ケア計画」を作成した。</li> <li>○ 3月に利用者の意見、希望等をメニューに反映する嗜好調査を31名に対して実施した。(経管栄養9名、入院3名、無回答2名を除く)</li> <li>○ 季節に合ったメニューや旬の素材を使った食事を提供した。</li> <li>○ 7月は焼き肉、10月に秋のバイキング、11月に海鮮丼、12月にクリスマス会メニュー(握り寿司等)、2月に節分メニュー(太巻き、いなり等)、ちゃんこ鍋、3月にひな祭りメニュー(ちらし寿司)を提供した。</li> <li>○ 利用者に、食事や栄養に対し興味や知識を持ってもらうように季節行事のメニューと由来等を記入したポスター等を作成し掲示した。(7回)</li> </ul>
<p>5 日課業務検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業運営・業務検討委員会で利用者が安心、安全で快適に暮らせるように配慮した施設内の環境整備を行うと共に、日常生活訓練や創作活動等の自立支援に繋がる取り組みを実施した。</li> <li>○ 利用者の自立に向けた取り組みの一環として、入浴時に利用者自身で衣類を準備できるよう環境調整(片麻痺でも入浴用バッグに衣類を用意できるよう職員自作のハンガーフックを使用)を行い利用者6名の自立支援に繋げた。(曾田氏、本田氏、川端氏、村山氏、今野勤氏、黒澤氏)</li> <li>○ 利用者が社会資源を活用するための外出機会を企画したが、新型コロナウイルス感染防止の為、外出支援代替え事業(出前+ドライブ)を実施した。</li> </ul>
<p>6 機能訓練の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者の心身の状況に合わせた個別機能訓練計画を作成し、身体機能の維持と日常生活動作の拡大に努めた。</li> <li>○ 利用者のADLの維持・向上及び活動性向上を目指し、訓練士と生活支援員等による協同訓練(集団リハビリ)を実施した。</li> </ul>
<p>7 健康管理の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 9月に第1回定期健康診断を実施し、3月に第2回を実施した。</li> <li>○ 二次性疾患(既存の疾患の憎悪やそのことで新たに発生した疾患)の早期発見の為、日々の健康状態の把握、医療面に係る精神的支援や定期検査(採尿、採血)を実施した。また、長期臥床による身体機能低下(特に循環障害や褥瘡等)の予防のため、離床支援に努めた。</li> <li>○ 嚥下機能低下に伴う誤嚥性肺炎の予防を考慮した口腔ケアと低栄養、脱水等に対する支援(摂食ケア)を実施した。</li> <li>○ 感染症予防の為に施設内の衛生管理の徹底に努めた。 また、発症の疑いが出た場合には、感染症対策マニュアルに則り、保健衛生・感染症対策委員会で蔓延防止の為に必要な対策を実施した。</li> </ul>

8 協力病院・その他の医療機関との連携	○ 利用者の急変等による協力病院等への医療機関への受診・入院や往診時には、常に看護記録や保険証等の整理・保管場所を把握して、迅速な受診と医師等への情報提供に努めた。																					
9 権利擁護・虐待防止の取り組み	○ 利用者の権利を擁護し、虐待や不適切ケアを未然に防止するための研修等を実施した。 ○ 職員倫理規程に基づき、職員一人ひとりが高い倫理観を持ち、利用者やその家族の方々からの信頼獲得及び利用者の秘密の保持に努めた。 ○ 事業所が実施するサービス自己評価及び利用者やその家族の意見等を真摯に受け止め、サービスの向上に努めた。																					
10 ヒヤリハット・事故防止の取り組み	○ 一人ひとりの心身の状況に合った支援体制を構築し事故の未然防止に努めた。 ○ 事故防止委員会で事故報告やヒヤリハットの内容を検証し再発防止に取り組んだ。 ○ 事故が発生した場合は速やかに対応し、検証結果を職場全体で共有し、再発防止に努めた。																					
11 利用者・家族からの要望、苦情相談等	○ 利用者や家族からの要望、意見、苦情等に対しては、真摯に受け止め迅速かつ適切に対応した。（苦情相談件数：0件） また、コロナ下における家族の面会希望に応えるため、オンライン面会、窓越し面会を実施した。																					
12 サービス自己評価の実施	○ 11月に障害福祉サービスに対する自己評価を実施した。評価の低い項目については迅速かつ適切に改善し、サービス向上に努めた。																					
13 職員研修の実施	○ 職員の資質向上と能力開発を目指すと共に、支援者としての強い使命感を持った職員の育成を図ることを目的として、以下の研修を実施した。 ア) 各種福祉制度について職員会議等を通して理解を深めた。 イ) 施設内研修等を通して、利用者の尊厳、人権擁護、虐待、身体拘束についての理解を深めた。 ウ) 施設内研修等を通して、感染症の蔓延や転倒、嚥下、服薬等に係わる危険を予見し、事故防止に努めた。 エ) 施設内研修等を通して、身体・知的・精神の3障害に関する知識及び支援技術の向上を図った。 <b>【内部研修実績】 4月～3月：計396名</b>																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="568 1585 794 1619">実施月日</th> <th data-bbox="794 1585 1385 1619">研修名</th> <th data-bbox="1385 1585 1501 1619">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="568 1630 794 1709">4/22～5/1</td> <td data-bbox="794 1630 1385 1709">介護職員に求められる医療知識、緊急時の対応について（参加者15名 資料回覧20名）</td> <td data-bbox="1385 1630 1501 1709">35名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1720 794 1798">4/22～5/1</td> <td data-bbox="794 1720 1385 1798">身体障害者の支援について（参加者15名 課題提出20名）</td> <td data-bbox="1385 1720 1501 1798">35名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1809 794 1888">5/27～6/10</td> <td data-bbox="794 1809 1385 1888">接遇について（参加者18名 課題提出17名）</td> <td data-bbox="1385 1809 1501 1888">35名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1899 794 1977">5/27～7/10</td> <td data-bbox="794 1899 1385 1977">権利擁護について（参加者18名 課題提出17名）</td> <td data-bbox="1385 1899 1501 1977">35名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1989 794 2045">7/22～7/30</td> <td data-bbox="794 1989 1385 2045">利用者の虐待防止・権利擁護について（参加者12名 課題提出23名）</td> <td data-bbox="1385 1989 1501 2045">35名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 2056 794 2107">7/22～7/27</td> <td data-bbox="794 2056 1385 2107">事故防止に関する事例演習（参加者12名 課題提出23名）</td> <td data-bbox="1385 2056 1501 2107">35名</td> </tr> </tbody> </table>	実施月日	研修名	人数	4/22～5/1	介護職員に求められる医療知識、緊急時の対応について（参加者15名 資料回覧20名）	35名	4/22～5/1	身体障害者の支援について（参加者15名 課題提出20名）	35名	5/27～6/10	接遇について（参加者18名 課題提出17名）	35名	5/27～7/10	権利擁護について（参加者18名 課題提出17名）	35名	7/22～7/30	利用者の虐待防止・権利擁護について（参加者12名 課題提出23名）	35名	7/22～7/27	事故防止に関する事例演習（参加者12名 課題提出23名）	35名
実施月日	研修名	人数																				
4/22～5/1	介護職員に求められる医療知識、緊急時の対応について（参加者15名 資料回覧20名）	35名																				
4/22～5/1	身体障害者の支援について（参加者15名 課題提出20名）	35名																				
5/27～6/10	接遇について（参加者18名 課題提出17名）	35名																				
5/27～7/10	権利擁護について（参加者18名 課題提出17名）	35名																				
7/22～7/30	利用者の虐待防止・権利擁護について（参加者12名 課題提出23名）	35名																				
7/22～7/27	事故防止に関する事例演習（参加者12名 課題提出23名）	35名																				



	8/15～9/4	精神障害者への支援について (参加者 18 名 課題提出 17 名)	35 名
	9/23～	インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルスについて (直接処遇職員 34 名 実地研修：1 名 資料回覧)	35 名
	11/16～11/23	権利擁護・虐待防止に関する事例演習（第 2 回） (直接処遇職員課題提出)	28 名
	11/16～11/23	ストレスコーピング・アンガーマネジメントについて (直接処遇職員課題提出)	28 名
	11/16～11/26	事故防止に関する事例演習（第 2 回） (直接処遇職員課題提出)	28 名
	11/21～11/27	知的障害者の支援について・自閉症スペクトラム症の理解 (直接処遇職員課題提出) ※移転後の入所予定者への対応として追加で計画・実施した。	32 名
<p>○ 新施設移転準備及び移転後の業務多忙を考慮し、11 月以降に予定していた施設内研修は全て 11 月に繰り上げ実施した。</p> <p>○ 外部研修会の研修内容を全職員で共有する為、参加職員による伝達講習会の実施及び研修会資料の閲覧を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、外部研修への参加を中止した。</p>			

事業項目	実績・今後の予定等																														
<p>○事業方針</p> <p>特別養護老人ホーム豊厚園は、入居者及びご家族の皆様へ安心、安全なサービスを提供するため、サービスの内容を常に点検する等、入居者の多様なニーズに即する安定したサービスが提供します。</p> <p>また、新施設は、1階と2階のエリアに区分されることから、建物の機能を活かし、各階ごとに運動プログラムや余暇活動等といった特色のあるサービスの提供に取り組めます。</p> <p>重点目標</p> <p>(1) 入居支援</p> <p>①被災者</p> <p>②一般入所</p> <p>2) 福祉仮設住宅入居者の尊厳に配慮したサービス提供</p> <p>3) 安心、安全な生活環境の提供</p>	<p>福祉仮設住宅及び新施設で入居者全員が穏やかで安心した生活を送ることができるよう職員一人一人が、真心のこもった肌理細かなサービスの提供に取り組んだ。</p> <p>また、フロアごとに運動プログラムや手工芸等の趣味活動を実施するなど、各フロアで特色ある個別ケアサービスの提供に取り組んだ。</p> <p>法人内感染症防止委員会と連携し新型コロナウイルス感染症及びその他の感染症防止に努めた。</p> <p>【福祉仮設住宅】新規入所者 4月1日～12月19日 計 0名 福祉仮設住宅は、住家が半壊以上等の被災者でないと入居が認められないため、新規入居者は、ゼロであった。</p> <p>【新施設】新規入所者 12月20日～3月31日 計17名 12月に新施設へ移転後は、町内外から17名の「新規利用者」を受け入れた。</p> <p>① サービス計画書に基づき、介護（身体介護、余暇活動等）・看護（健康管理、救急時対応等）・栄養管理（嗜好調査、治療食提供等）・訓練（個別、集団訓練の実施等）・相談（入居者及び家族からの生活や入居に関する相談等）による入居者個々の状態に応じた各種サービスを提供した。</p> <p>② 自分で決定することが可能な入居者に対しては、自己選択・自己決定できるよう支援した。また、自己決定が困難な入居者には、家族の意向を反映したサービスの提供に取り組んだ。</p> <p>① 入居者の心身状態の情報を共有するため、日中勤務者と夜間勤務者が情報を的確に引き継ぐとともに、介護・看護・相談・訓練日誌等の各記録を整備し、安心・安全な生活環境の提供と維持に取り組んだ。</p> <p>② 事故予防対策については、事故やヒヤリハットの発生時に原因を十分に究明した対策を検討するとともに、全職員に周知徹底し再発防止に取り組んだ。また、これまでの防止策に対する効果を検証し最も適切な支援が提供できるよう取り組んだ。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の感染予防の対策として、オンライン面会及び窓・ドア越し面会を実施した。</p> <p>【オンライン面会】4月～3月 計11件</p> <table border="1" data-bbox="584 1877 1497 2056"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>件数</th> <th>実施月</th> <th>件数</th> <th>実施月</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>0件</td> <td>5月</td> <td>0件</td> <td>6月</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>0件</td> <td>8月</td> <td>3件</td> <td>9月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>1件</td> <td>11月</td> <td>0件</td> <td>12月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>0件</td> <td>2月</td> <td>0件</td> <td>3月</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	件数	実施月	件数	実施月	件数	4月	0件	5月	0件	6月	5件	7月	0件	8月	3件	9月	1件	10月	1件	11月	0件	12月	1件	1月	0件	2月	0件	3月	0件
実施月	件数	実施月	件数	実施月	件数																										
4月	0件	5月	0件	6月	5件																										
7月	0件	8月	3件	9月	1件																										
10月	1件	11月	0件	12月	1件																										
1月	0件	2月	0件	3月	0件																										

【窓・ドア越し面会】 4月～3月 計226件

実施月	件数	実施月	件数	実施月	件数
4月	0件	5月	0件	6月	24件
7月	20件	8月	35件	9月	21件
10月	28件	11月	25件	12月	10件
1月	20件	2月	15件	3月	28件

4) 自己決定権に配慮したサービス提供

各種サービス提供に係る意思確認

【食事関係】

- ・ 毎月1回、施設長等、利用者代表、給食委託業者等を構成員とする給食運営会議を開催。利用者の生の声を聞き調理に反映している。
- ・ 管理栄養士が直接入居者から随時聞き取りするほか、申し出により食事形態の変更や代替食を提供した。また、行事食や選択性献立の希望を聴取し入居者の個々の希望が反映されるよう積極的に取り組んだ。

【行事】

- ・ 利用者と職員が共同で、おやつ作りを行う等、行事を案内し、希望する利用者が参加できるよう取り組んだ。

5) サービス計画書の立案・実践の取り組み

サービス担当者会議を開催し結果を基にサービス計画書を作成し、より良いサービス提供に取り組んでた。

【サービス担当者会議実績】 4月～3月 計11件

開催月	件数	開催月	件数	開催月	件数
4月	2件	5月	2件	6月	1件
7月	1件	8月	2件	9月	4件
10月	2件	11月	1件	12月	0件
1月	6件	2月	5件	3月	6件

6) 職員の知識・技術向上に向けた計画的な取り組み

職員の知識と技術の向上を図るため計画的に研修会に参加した。

【外部研修】 4月～3月 計2件 延べ4名

実施月日	研修名	人数
6/12	介護事業所の経営者が考えるべき自立支援(オンライン研修会)	3
7/30	新型コロナウイルス感染拡大防止に係る研修会	1

【内部研修】 4月～3月 計件 延べ264名

実施月日	研修名	人数
5/10	排泄研修	8
5/28	緊急時スキルアップ研修	19
6/20・23・30	食中毒予防・蔓延防止に係る研修	25
8/2・19・24・25・26・31・9/1	拘縮予防・褥瘡研修	35
8/3・4・5	認知症と接遇	36
9/28・30・10/5	事故防止研修	30
11/20・24・27	清潔に関する研修	28
11/30	新型コロナウイルスにおける感染予防	30
1/11・13・14	ほのぼのNEXT(介護ソフト)研修	30
3/18	ケアニン(映画)鑑賞	8
3/25・31	接遇研修	15

7) 認知症ケアの実践

認知症を抱える入居者に対して「肌理細かで真心のこもった介護」を行うため、福祉仮設住宅の機能を活かし棟ごとで小グループ体制によるサービスを提供した。新施設に移転後は各フロアで個別、集団でのアクティビティ活動などのサービスを提供した。

また、事業所内で認知症に関する研修会を開催し、職員の技術と知識向上に取り組んだ。

8) 権利擁護・虐待防止の取り組み	職員個々の虐待に関するセルフチェック調査を実施した。 (調査 令和2年10月、令和3年3月)
9) 相談・苦情対策	相談しやすい環境を整え、苦情の申し出に対して速やかに対応できるように取り組んだ。(4月～3月 苦情件数0件)
10) サービス自己評価の実施	良質なサービスを継続し提供するために、前年度の総合的なサービス評価を実施しサービスの向上に努めた。 (サービス自己評価の実施 令和2年11月実施)
11) 防災対策への取り組み	胆振東部地震を教訓に災害に関する基礎知識の習得や防災対策全般の意識向上に取り組んだ。 (避難訓練の実施 令和2年5月20日、8月12日)

令和2年度 事業実績報告書

施設名 あつまデイサービスセンター

対象期間 令和2年4月～令和3年3月

事業項目	実績																															
<p>○事業方針</p> <p>あつまデイサービスセンターでは、高齢者が慣れ親しんだ地域でいつまでも安心して生活を送ることができるよう高齢者の自立を目的に、一人でも多くの利用者が満足を得られるよう個別ケアへの意識を高め、実状に即したサービスを提供します。</p> <p>重点目標</p> <p>1 通所介護、第1号通所事業の提供</p> <p>① ケアプラン会議の開催（経過状況及び評価検討の実施）</p>	<p>令和元年6月5日に厚真町『いきいきサポートサロン』を提供され運営していたが、昨年12月に新施設が完成したため、令和3年1月から本格的に事業を再開。高齢者が慣れ親しんだ町での在宅生活を送ることができるよう、利用者の自立を目的とした個別ケアに取り組み満足が得られるよう努めた。</p> <p>・令和2年度</p> <p>営業日 月～土曜日 週6日 (4～12月25日まで月・水・金曜日営業) (1月5日より週6日営業)</p> <p>時間 10時00分～15時30分</p> <p>利用者数 6.7名(1日平均)</p> <p>登録者 29名</p> <p>・ケアプラン会議の開催</p> <p>利用者個々の身体状況に応じて適切な介護予防等の計画を作成した。</p> <p>[開催状況]</p> <table border="1" data-bbox="507 1323 1120 2011"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>12件</td> <td rowspan="12">〔会議参加者数〕 4名(デイ職員)</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>27件</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>27件</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>199件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月	件数	備考	4月	12件	〔会議参加者数〕 4名(デイ職員)	5月	13件	6月	13件	7月	13件	8月	13件	9月	13件	10月	13件	11月	13件	12月	13件	1月	27件	2月	27件	3月	29件	合計	199件	
月	件数	備考																														
4月	12件	〔会議参加者数〕 4名(デイ職員)																														
5月	13件																															
6月	13件																															
7月	13件																															
8月	13件																															
9月	13件																															
10月	13件																															
11月	13件																															
12月	13件																															
1月	27件																															
2月	27件																															
3月	29件																															
合計	199件																															

② サービス担当者会議等で、必要な情報の収集と提供

サービス担当者会議等を開催し利用者の自己選択と決定を尊重したサービス計画を作成し、計画に沿ったサービスを提供する外、利用者の情報提供に努めた。

[開催状況]

月	計画作成数	備 考
4月	1名	〔会議参加者〕 4名 (地域包括支援センター職員 家族等)
5月	1名	
6月	1名	
7月	0名	
8月	0名	
9月	1名	
10月	0名	
11月	1名	
12月	11名	
1月	3名	
2月	1名	
3月	6名	
合計	26名	

(2) 機能訓練によるADLの維持・向上支援

利用者の日常生活動作（ADL）が維持され、安定した生活を送ることができるよう居宅サービス計画書や介護予防計画書に基づき訓練等を行い日常生活動作（ADL）が、低下しないよう取り組んだ。

2 個別ケアへの取り組み

(1) 個別ケア

① 利用者を適切に支援することを目的に利用者個々の情報を共有する共有会議を定期的で開催する。

利用者個々に情報を共有するために定期的に会議を開催（職員間での情報共有）し、適切に援助した。

定例会議 毎月1回  
臨時会議 必要な都度

② 利用者の特性に応じたコミュニケーション技法の統一化を図る。

利用者が職員に心を開きやすく、何よりも安心して過ごせるよう利用者に対する職員のコミュニケーション方法を統一して、対応した。

③ 認知症ケアに関する研修会を開催（施設内研修会への参加）する。

職員個々が認知症ケアに対して、統一的な考えの下にチームケアを行うことが肝要であるため、施設内で認知症ケアに関する勉強会を開催した。

参加職員数 2～4名

開催月 8月 1回

(2) アクティビティの取り組み

個別の通所介護計画書に基づき、個別又は小集団活動等の機会を提供します。

[実施状況]

月	内 容
4月	スカットボール・ゲーボールゲーム・輪投げ・開運お手玉ボード・トランプ・おやつ作り（たこ焼き）
5月	ストラックアウト・缶釣り・トランプ・塗り絵・カレーライス作り・菖蒲湯・花見ドライブ
6月	ブロンゴ・ピンポン缶・輪投げ・玉のせ・塗り絵
7月	焼きそば作り・玉のせ・ことわざカルタ・カーリンコン・トランプ
8月	さくらんぼの輪投げ・野菜カード・トランプ・出前デー・風船バレー・ピンポン缶
9月	ピンポン缶・缶釣り・トランプ・脳トレ・ことわざカルタ・塗り絵・野菜カード・おやつ作り（たこ焼き）・輪投げ
10月	野菜カードゲーム・輪投げ・トランプ・ストラックアウト・ことわざカルタ・会食デー（寿司等）
11月	ピンポン缶・ことわざカルタ・お好み焼き作り・缶釣り・野菜カード・
12月	缶釣り・ブロンゴ・トランプ・ことわざカルタ・ビンゴゲーム・忘年会（寄せ鍋、すき焼き）・
1月	野菜カードゲーム・トランプ・ことわざカルタ・ピンポン缶・ブロンゴ
2月	輪投げ・黒ひげドカン・ピンポン渡し・缶釣り・ストラックアウト・出前デー・ポケネット
3月	スカットボール・トランプ・ボーリング・ゲーボール・開運お手玉ボード・輪投げ・ことわざカルタ・野菜カードゲーム

(3) 満足度調査の実施

2月実施（別紙 あつまデイサービスセンター満足度調査結果報告参照）

3 健康管理について

(1) 必要に応じて情報を収集（通院、服薬状況、治療経過、自宅環境、記録の整備）し、健康管理に努めます。

利用者・家族及び担当ケアマネに通院や服薬状況等の必要な情報を収集し健康管理に努めた。

(2) 利用日に状態を把握（体調不良変化の確認と対応）し、健康管理に努めます。

新型コロナウイルス感染予防対策として、迎え時に利用者本人の体温・体調等を確認する共に同居家族等の体調も確認し、感染予防や健康管理に努めた。体調不良時には、家族やケアマネに状況報告し対応した。

<p>4 事故防止対策について 事故を未然に防ぐため危険箇所等を事前に把握し定期点検を実施する。</p>	<p>事故防止対策として定期的に会議を開催（職員間での情報共有）。大事故につながらないように点検などに取り組んだ。</p> <p>定例会議 毎月1回 臨時会議 必要な都度</p>												
<p>5 感染症対策について 感染対策委員会の決定事項に基づき感染者情報の報告、感染予防対策、感染拡大防止に努める。</p>	<p>法人が開催する「感染症対策委員会」に出席し、北海道感染症情報センター等が発表する道内の感染情報を共有するとともに町内や各事業所の発生状況の情報を収集した。</p> <p>また、各事業で感染症が発生している場合は、委員会から提示される予防策を遵守する等、委員会と連携を図り感染予防に努めた。</p> <p>デイサービスセンターは、家庭と直結しているため町内で発生する新型コロナウイルス等の感染症に直接影響を受け利用者が重篤となる危険性があることから、職員一人一人が慎重な行動を取り感染予防に努めた。</p>												
<p>6 業務・ケアマニュアル検討会議の開催 各種ケアマニュアルについては、利用者状況の変化やADLの状態に合わせて見直す。</p>	<p>利用者の日常生活動作（ADL）や身体状況の変化に応じて、必要な都度見直し、対応した。</p> <p>毎月開催 12回 参加者 あつまデイサービスセンター 職員4名</p>												
<p>7 施設内外研修 令和2年度の研修計画に基づき研修会に参加し、職員の知識、技術の向上に努めます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策のため施設外研修は中止しているが、施設内研修をし、知識や技術の向上に努めた。</p> <p>〔研修参加状況〕</p> <table border="0"> <tr> <td>5月29日</td> <td>事故発生・再発防止研修</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>8月4日</td> <td>認知症と接遇研修</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>8月18日</td> <td>拘縮予防・褥瘡研修</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>9月14日</td> <td>報告・連絡・相談について</td> <td>4名</td> </tr> </table>	5月29日	事故発生・再発防止研修	4名	8月4日	認知症と接遇研修	2名	8月18日	拘縮予防・褥瘡研修	2名	9月14日	報告・連絡・相談について	4名
5月29日	事故発生・再発防止研修	4名											
8月4日	認知症と接遇研修	2名											
8月18日	拘縮予防・褥瘡研修	2名											
9月14日	報告・連絡・相談について	4名											
<p>8 家族との連携 (1) 定期的な情報交換 ①送迎時に利用者の常用について、ご家族等と情報交換を行う。 ②独居利用者については、別居家族等に必要な情報を提供する。 ③家族懇談会の開催（3月頃実施予定）</p>	<p>電話や送迎時に利用者の心身状態について家族に情報交換を行った。</p> <p>独居利用者については、別居家族等に必要な情報を提供した。</p> <p>3月に開催予定していたが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止。</p>												



<p>9 関係機関との連携等について</p> <p>(1) 地域包括支援センター等との連携</p> <p>① 地域ケア会議等 (月 1 回) へ参加し情報交換等を行う。</p> <p>② 地域運営推進委員会 (6 か月 1 回) を開催する。</p> <p>10 地域交流</p> <p>(1) 地域行事への参加</p> <p>① 利用者の希望に応じて、地域で開催される行事に参加する。</p> <p>② 厚真町自立支援事業 (いきいきサポート) との交流会を実施する。</p> <p>11 外出支援</p> <p>利用者の意向に沿った外出支援に努める。</p>	<p>厚真町地域包括支援センターが毎月主催する地域ケア会議は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止しているが電話を通し個々の利用者の状況報告等た。</p> <p>9月に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止。</p> <p>普段外出機会が少ない利用者に地域行事の参加や厚真町自立支援事業のいきいきサポートサロンと交流会実施予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止。</p> <p>10月14日 (水) 地域巡り (紅葉見学ドライブ) 利用者 5名参加</p> <p>10月16日 (金) 地域巡り (紅葉見学ドライブ) 利用者 6名参加</p>
---	--

令和2年度 事業実績報告書

施設名 厚南デイサービスセンター

対象期間 4月～3月

事業項目	実績																																
<p>1 事業方針</p> <p>単身高齢者世帯や高齢者夫婦のみの世帯、認知症高齢者の増加が予想される中、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域での在宅生活を継続するためのサービスを提供し、利用者が自分らしく生き生きとした生活が出来るように自立生活の助長・社会的孤立感の解消・認知症の進行防止・心身の機能の維持向上等の様々な援助を行ってまいります。</p> <p>2 重点目標</p> <p>1) 通所、第1号通所事業の提供</p> <p>① 通所介護計画及び第1号通所介護計画書作成、サービスの提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ひとりひとりの意向や思いを汲み取り、デイサービスの利用によってより良い生活が出来るよう通所介護・第1号通所介護計画を作成し、個別ケアを実践していけるように努めた。</li> <li>・胆振東部地震で被災された方々が住み慣れた地域で在宅生活ができるよう援助した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が急速に拡大している状況を踏まえ、国内における感染の流行が終息するまでの期間、新型コロナウイルスをめぐる状況を的確に把握し、関係機関と連携し感染症対策をすすめた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の意向に沿った通所介護計画書及び第1号通所介護計画書を策定しサービスを提供した。</li> <li>・新規利用者の情報収集及びサービス担当者会議で情報収集と提供を行った。</li> </ul> <p>サービス担当者会議出席（計画作成数）</p> <table border="1" data-bbox="459 1406 1273 1899"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>件数</th> <th>月</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>0件</td> <td>11月</td> <td>3件</td> <td rowspan="7">(会議参加者数) 4～7名 (ご家族、ご本人、あつま居宅介護支援事業所、ほのぼのライフケアあつま、地域包括支援センター、ニチイケアセンター、マルキタ家具センター等職員)</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>2件</td> <td>12月</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>3件</td> <td>1月</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>2件</td> <td>2月</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>0件</td> <td>3月</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>2件</td> <td rowspan="2">合計</td> <td rowspan="2">37件</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>	月	件数	月	件数	備考	4月	0件	11月	3件	(会議参加者数) 4～7名 (ご家族、ご本人、あつま居宅介護支援事業所、ほのぼのライフケアあつま、地域包括支援センター、ニチイケアセンター、マルキタ家具センター等職員)	5月	2件	12月	7件	6月	3件	1月	4件	7月	2件	2月	8件	8月	0件	3月	4件	9月	2件	合計	37件	10月	2件
月	件数	月	件数	備考																													
4月	0件	11月	3件	(会議参加者数) 4～7名 (ご家族、ご本人、あつま居宅介護支援事業所、ほのぼのライフケアあつま、地域包括支援センター、ニチイケアセンター、マルキタ家具センター等職員)																													
5月	2件	12月	7件																														
6月	3件	1月	4件																														
7月	2件	2月	8件																														
8月	0件	3月	4件																														
9月	2件	合計	37件																														
10月	2件																																

2) 個別ケアへの取り組み

①利用者個別理解

・ミーティングや業務日誌・会議録にて情報の共有を図り、チームケアに取り組んだ。

②個別・グループ活動への取り組み

・利用者のニーズを取り入れ利用者自身が自己選択・自己決定できる個別、グループ活動の充実に努めた。

(アクティビティ活動実施状況)

月	活 動 内 容
4	開運お手玉ボード・ピンポン缶・さくらんぼの輪投げ・缶釣りゲーム・ボーリング
5	ボーリング・ポケネット・回転ダーツ・玉のせ・魚釣りゲーム
6	ゲーゴールゲーム・風船バレー・ストラックアウト・開運お手玉ボード・ピンポン缶
7	ピンポン缶・缶釣りゲーム・ポケネット・さくらんぼの輪投げ・ボーリング
8	ボーリング・シャッフルボード・回転ダーツ・魚釣りゲーム・カーリンコン
9	スカットボール・ピンポン缶・ポケネット・玉のせ・開運お手玉ボード
10	開運お手玉ボード・ゲーゴールゲーム・風船バレー・缶釣り・サクラんぼの輪投げ
11	ストラックアウト・玉のせ・回転ダーツ・魚釣りゲーム・ピンポン缶
12	ピンポン缶・ポケネット・サクラんぼの輪投げ・ゲーゴールゲーム・スカットボール
1	スカットボール・開運お手玉ボード・ボーリング・風船バレー
2	缶釣りゲーム・ストラックアウト・ピンポン缶・玉のせ
3	回転ダーツ・魚釣りゲーム・開運お手玉ボード・サクラんぼの輪投げ・風船バレー

③満足度調査の実施

・実施日：令和3年2月1日～2月15日（無記名調査）  
 ・対象者：54名中25名回答  
 ・結果：満足68%、やや満足11%、普通16%、やや不満4%、不満1%  
 ・評価：利用者の約40%の回答があった。昨年より午前中の活動では、2種類のゲーム・レクリエーションから選んでいただく選択制を採用し利用者のニーズに対応した。今後も利用者の要望に沿った対応が必要である。

3) 健康管理について

・新型コロナウイルス感染症対策として、毎回の利用時に検温、体調確認し感染予防に努めた。  
 ・通院、治療、処方薬状況、自宅環境などの情報収集に努めた。  
 利用毎のバイタルチェック及び体調の把握に努めた。  
 主治医、看護師への情報提供に努めた。  
 ・利用者に対し健康講座を実施。  
     5月25日、26日、27日      「巣ごもり熱中症」  
     10月28日、29日、30日      「インフルエンザ予防について」

- ・インフルエンザ予防接種について文書で利用者や家族に通知（10月）。
- ・ノロウイルスについて対策方法を職員に周知させ利用者や家族にも文書で通知（11月）。

4) 事故防止対策について

- ・ヒヤリハット・インシデント・事故発生時に検討会議をし、同じ事故の防止に努めた。  
インシデント 6件  
事故 1件
- ・インシデント、事故について職場研修を実施した。  
6月26日（デイ会議後）、8月20日（デイ会議後）、11月24日（デイ会議後）  
1月21日（デイ会議後）、3月24日（デイ会議後）
- ・法人の事故防止委員会に参加した。
- ・危険箇所の安全点検を適宜実施した。
- ・利用者ごとに身体状況の現状を評価し事故防止に努めた。

5) 感染症対策について

- ・新型コロナウイルス感染症対策として毎月の懇談会及び文書で利用者や家族に周知し、毎回の利用時に検温、体調確認し感染予防に努めた。
- ・感染症対策委員会で決定した感染予防対策を講じた。
- ・法人の感染症対策委員会に参加した。
- ・感染時期の感染予防の強化（うがい、手洗いの徹底・マニュアルの確認）に努めた。
- ・各種マニュアルの確認、見直しの職場研修を実施した。

6) 業務・ケアマニュアル検討会議の開催

- ・施設内の研修に参加しサービスの質の向上に努めた。
- ・月1回のデイ会議で業務の見直しを行った。

7) 施設内外研修

- ・令和2年度施設内外研修計画に沿って研修会に参加するなどサービス向上に努めた。（本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため外部研修は自粛）  
（施設内研修）

月	研修内容
4	新型コロナウイルス感染症対策と自己管理
6	基本的な接遇マナー
8	認知症の方への理解
10	事故・病状急変時の緊急時の対応
12	感染症対策について
2	基本的な防災対策への理解

8) 家族との連携

- ・送迎時に検温・体調やデイでの状況等を口頭、手紙、連絡ノートにて情報提供を実施した。
- ・独居利用者の家族への情報提供を実施した。
- ・令和3年3月に実施予定だった家族懇談会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

<p>9) 関係機関との連携等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当ケアマネとの連携、サービス担当者会議に出席した。</li> <li>・本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため地域ケア会議は休止。このため担当ケアマネとの連携を密にして情報交換に努めた。</li> <li>・運営推進会議（6か月に1回開催）は新型コロナウイルス感染症対策のため、書面審議とした。運営推進委員（4名）に9月、3月書類発送。</li> </ul>
<p>10) 地域交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寿楽会による花壇の植樹 6月3日、10名参加</li> <li>・あゆみ会による花壇清掃 8月22日 5名参加 9月29日 5名参加</li> <li>・焼き芋の会でボランティア1名参加。 10月25～27日</li> </ul>
<p>11) 苦情の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無し</li> </ul>
<p>12) 外出支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は新型コロナ感染症の感染拡大防止の観点から自粛した。</li> </ul>
<p>13) その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災想定による避難訓練を実施した。6月18日</li> <li>・消防署査察 10月12日</li> <li>・火災想定による避難訓練、通報訓練、消火訓練を実施した。11月19日</li> <li>・火災想定による避難訓練、消火訓練を実施した。2月10日</li> </ul>

令和2年度 事業実績報告書

施設名 居宅介護支援

対象期間 4月～ 3月

事業項目	実績
<p><b>事業方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して在宅生活、最後までその人らしい生活の支援</li> <li>・利用者の自立支援及び家族の介護負担軽減</li> <li>・関係機関との連携、よりよいサービスの提供</li> </ul> <p><b>重点目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護支援の充実</li> </ul> <p>・サービス事業所・他機関等との連携強化</p> <p>・研修会への出席</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住み慣れた地域での在宅生活継続と、その人らしい生活ができるよう本人の思いを重視した支援に努めた。</li> <li>・法令遵守、公平・適正なサービス提供による自立支援、介護負担軽減に努めた。</li> <li>・サービス事業所、他機関等との連携強化でより良いサービスの提供に努めた。</li> </ul> <p>(1) 居宅介護支援契約 担当上限39件、現在38件担当 (新規22件)</p> <p>(2) 居宅サービス計画の作成 新規、更新、変更時に作成</p> <p>(3) サービス提供のモニタリング 毎月実施</p> <p>(4) 介護保険給付管理および請求事務 毎月実施</p> <p>(5) 受託業務の実施 (認定調査・要支援認定者の受託)</p> <p style="padding-left: 40px;">認定調査 計 4件 (月0.7件)</p> <p style="padding-left: 40px;">要支援者 計 10件 (月1.7件)</p> <p>サービス事業所・ 新規、更新、変更時等にサービス担当者会議を開催し、適宜情報交換を行った。</p> <p>医療機関 . . . 医療機関の相談員等と電話連絡し情報交換を行った。</p> <p>地域包括支援センター・新規利用、介護度変更時の引継ぎ他を行った</p> <p>民生委員 . . . 独居、老夫婦世帯の状況等適宜連携した。</p> <p>・令和2年度 居宅療養管理指導研修会(小規模多機能事業所主催) 令和2年7月7日(火)</p>